

第1号△一九六三・二▽横浜市の未来像

第2号△一九六四・二▽横浜市の行政水準

第3号△一九六四・六▽子供を大切にす市政

第4号△一九六四・八▽だれでも住みたくなる都市づく

くり

第5号△一九六四・二▽海外から見て横浜を考える

第6号△一九六五・二▽地方行政の改革と近代化

第7号△一九六五・五▽宅地開発の現状と対策

第8号△一九六五・八▽戦後20年―市行政の再検討

第9号△一九六五・二▽「横浜の都市づくり」に提案

する

第10号△一九六六・二▽区役所問題

第11号△一九六六・五▽横浜文化論―新しい文化の創

造は可能か

第12号△一九六六・八▽首都圏と横浜

第13号△一九六七・二▽新しい横浜の記録

第14号△一九六七・六▽大都市圏の問題

第15号△一九六七・九▽行政の再点検と提案

第16号△一九六七・二▽統一行政の再点検と提案

第17号△一九六八・二▽公害対策―横浜方式

第18号△一九六八・八▽二〇〇万都市

第19号△一九六八・三▽郊外部開発の諸問題

第20号△一九六八・三▽転換期の福祉行政

第21号△一九六九・三▽市民の安全

第22号△一九六九・八▽都市と緑

第23号△一九六九・二▽都市化と老人問題

第24号△一九七〇・一▽基地と市民運動

第25号△一九七〇・三▽京浜工業地帯

第26号△一九七〇・六▽余暇とその環境

第27号△一九七〇・二▽都市廃棄物

第28号△一九七一・三▽大企業の経過と今後の方向

第29号△一九七一・三▽新市民と自治

第30号△一九七一・六▽水資源と水行政

第31号△一九七一・九▽住宅問題の諸側面

第32号△一九七一・三▽自動車化と道路・交通問題

第33号△一九七二・三▽都市環境と生物指標

第34号△一九七二・六▽都市化と財政

第35号△一九七二・九▽住民と「知る権利」

第36号△一九七二・三▽住民の要求と行政の対応

△意識調査から▽

第37号△一九七三・三▽地方公務員と職業倫理

第38号△一九七三・六▽住工混合地域の環境整備

―「計画」の前提を考える

第39号△一九七三・九▽大都市における地域行政

―区役所のあり方を中心に

第40号△一九七三・三▽大地震の対策と不安

第41号△一九七四・三▽都市と精神の問題

第42号△一九七四・六▽都市エネルギーの諸問題

第43号△一九七四・九▽出稼ぎ労働の問題点

第44号△一九七四・三▽消費者と物価

第45号△一九七五・三▽「福祉」問題再考

第46号△一九七五・六▽都市と家族の問題

第47号△一九七五・九▽アーバンデザインの課題

第48号△一九七五・三▽地方財政危機をめぐって

第49号△一九七六・三▽区民生活と行政の対応

―緑区の調査事例を中心に

第50号△一九七六・六▽都市行政の主体性

第51号△一九七六・九▽都市のなかの川

第52号△一九七六・三▽都市と港湾

第53号△一九七七・三▽横浜の文化と行政

第54号△一九七七・六▽市民の医療と行政

第55号△一九七七・九▽都市における学校

第56号△一九七七・三▽低成長下横浜の再財政

第57号△一九七八・三▽地区計画と住民

第58号△一九七八・六▽都市における資料館

第59号△一九七八・九▽横浜の緑と保存

第60号△一九七八・三▽横浜の盛り場

第61号△一九七九・三▽地域施設の管理・運営

第62号△一九七九・六▽都市と子ども

第63号△一九七九・九▽横浜の地下

第64号△一九七九・三▽市民の食料と食生活

第65号△一九八〇・三▽横浜の国際性

- 第66号△一九八〇・六▽歩行者空間
- 第67号△一九八〇・九▽市民と健康
- 第68号△一九八〇・三▽老人問題と福祉行政
- 第69号△一九八一・三▽都市の自治
- 第70号△一九八一・六▽都市住宅問題をめぐって
- 第71号△一九八一・九▽共生の時代
- 第72号△一九八一・三▽婦人問題
- 第73号△一九八二・三▽アジアの都市と横浜
- 第74号△一九八二・六▽横浜と農業
- 第75号△一九八二・九▽横浜と工業
- 第76号△一九八二・三▽都市と水環境
- 第77号△一九八三・三▽職員の自主研究
- 第78号△一九八三・六▽市政情報の整備と利用
- 第79号△一九八三・三▽横浜市政と行政
- 第80号△一九八四・二▽高齢社会の課題
- 第81号△一九八四・三▽市民・地域・行政
- 第82号△一九八四・九▽緑保存の方策
- 第83号△一九八四・二▽横浜と商業
- 第84号△一九八五・二▽福祉と民間活力
- 第85号△一九八五・三▽区行政―あり方と個性ある地域づくりの試み
- 第86号△一九八五・三▽都市とイベント
- 第87号△一九八五・三▽横浜の産業政策―企業誘致活動を中心に
- 第88号△一九八六・二▽市民と図書館
- 第89号△一九八六・三▽国際化時代の市民と行政
- 第90号△一九八六・九▽まちの活力と行政
- 第91号△一九八六・二▽家族機能と自治体行政
- 第92号△一九八七・一▽横浜の公共交通
- 第93号△一九八七・三▽地域情報・行政情報
――横浜の広報力を考える
- 第94号△一九八七・六▽博物館を考える
- 第95号△一九八七・九▽子どもとまち
――遊び・自然・まちづくり
- 第96号△一九八七・三▽都市とごみ
――ごみとの共存をめざして
- 第97号△一九八八・三▽まちの特徴づくり
――歴史、文化とのかかわり
のなかで
- 第98号△一九八八・六▽みなと
――現状と新しい動き
- 第99号△一九八九・一▽横浜論
- 第100号△一九八九・三▽市民と生涯学習
- 第101号△一九八九・三▽市民と生涯学習
- 第102号△一九八九・六▽89・職員の自主研究
- 第103号△一九八九・九▽車社会を考える
- 第104号△一九八九・三▽都市生活とメンタルヘルス
- 第105号△一九九〇・三▽横浜―東京圏の中で考える

●第101号(一九八九年三月)

特集・市民と生涯学習

市民と生涯学習——山本恒夫

市民と学習、活動

①地域の子供達と共に——すくすくクラブ

②「女の考えるまちづくり」をビデオで表現——嶋田昌子

③洋光台男声合唱団——中野堅五

④通信制高校生と学習——持田紀夫

⑤実感的生涯学習論——水野彰雄

地域における生涯学習への取り組み

①住民意識を育てよう——中村喜久栄

②社会教育と生涯学習——西村英彦

横浜女性フォーラムは、ネットワークづくりの拠点——小山内いづ美

横浜市生涯学習基本構想について

①構想へのあゆみ——関 貞雄

②横浜市生涯学習基本構想に期待する——栗原敦雄

新書紹介／生きるための道具づくり——笹目孝夫

●第102号(一九八九年六月)

特集・職員の自主研究

職員の自主研究の現状——相田忠夫

金沢臨海部再整備構想——松本 陽

本田久美子 中川理夫 湯川光夫 関口昌幸

横浜のトレンドをさぐる——小杉聖志 加藤美奈

高橋俊和 松寄尚紀 中野俊明 城内孝元

廣田敦志 江口頼幸

YOKOHAMA・テトラ

フロンティア・シティ構想

——井上雄太 田代 理 小高英明 内田亜仁

自然を生かしたまちづくり——榑原和雄 高橋正幸

池内ユカリ 鈴木恵子 長尾政治 平野壽幸

地域活性化の核となる文化施策——長谷川秀

篠原一義 青木直人 金田竜生 松岡文和

大塚 克 小室敏勝

地域の育児力を考える——港北保健所保健課

精神薄弱者福祉の新たなプログラム——小俣典之

浦原貴志 魚谷早苗 安齋裕子 石原雅子

牛尾泰子 高橋 薫 菅原正興

行政研究／みなと文化の創造、発見、そして伝承——二見尚子

新書紹介／図説・横浜の歴史——村田和義

／横浜スポーツ百年の歩み——大河内保雪

／横浜・都市と建築の一〇〇年——大宮眞一

●第103号(一九八九年九月)

特集・車社会を考える

車社会の変化をユーザーの立場からみると——松本健造

横浜の自動車交通——広瀬貞男 山本辰久

交通事故と安全対策——河野 功

住宅地における駐車場の確保とその取り組み

①共同住宅等の駐車場の確保について——谷垣弘行 鷺森寿明

②住宅地における駐車場設置への取り組み——福水哲夫

車社会と企業——永光哲次郎

車社会の都市環境デザイン——窪田陽一

行政資料／自動車公害防止計画の概要について——小柳高好

新書紹介／近くて近いアジア——山本 忍

●第104号(一九八九年十二月)

特集・都市生活とメンタルヘルス

都市と生活ストレス——石原邦雄

都市生活とメンタルヘルス——吉川武彦

アルコール依存症——水澤都加佐

働き盛りのメンタルヘルス——岩井浩一

インタビュ―・思春期のメンタルヘルス——渡辺久子

横浜いのちの電話相談——長谷川浩一 内田恵美子

座談会・地域における精神保健活動の実際と課題——小坂 功 菊池 正 児玉三千江

佐伯 彰 吉塚晴夫 小林光政 助川征雄

横浜市の精神保健対策の現状と課題——田中克子

新書紹介／失われたものを追いかけて——伊藤 孝

調査季報

1990 105 3月

●
横浜市のデータ

人口

3,200,819 < 2・3・1 >

世帯数

1,149,746 < 2・3・1 >

平成2年(1990年)3月31日

編集・発行

横浜市企画財政局都市科学研究室

〒231 横浜市中区港町1-1

045・671-2029

横浜市広報印刷物登録

第010089号

類別・分類

A-B A110

印刷

東邦印刷株式会社

横浜市内南区高根町3-18